

式第 4 号



令和元年度 補助金決算効果報告書

令和 2年 4月20日

府 中 市 長 様

事業所の所在地 府中市府川町315番地

会 派 名 公明党

代表者名 加島 広宣



府中市補助金交付規則第10条の規定により、次のとおり事業実績及び収入支出決算を報告します。

1 事業実績

- |           |           |
|-----------|-----------|
| (1) 事業名   | 政務活動費     |
| (2) 補助金額  | 188,173 円 |
| (3) 補助の効果 |           |

1) 広島県庁にて

不登校・いじめ・児童虐待・上下水道の広域化についての研修会を行いました。

広島県内の不登校の状況と課題を伺いました。不登校は増加傾向にあり、カウンセリングの重要性を感じました。また子供の不登校は、いずれ大人の引きこもりへとつながっていく。見過ごさない体制づくりと窓口が必要である。いじめ問題はスマホの普及により SNS などでの隠れたいじめが起きている。家庭でのルールづくりなど協力が必要となる。また、児童虐待については、親が大人になり切れていないことの問題を感じました。府中市版ネウボラの充実をはかり、早期発見に努めなければならないと感じました。

県内の上水下水各事業の実情を伺いました。水道事業、下水道事業ともに言えるのが人口減少や施設の老朽化などによる費用が増加していくこと技術職員の不足による経営の悪化が深刻化している。持続可能な事業運営を確保していくには市町の枠を超えた広域化と共同化が有効な取り組みであろう。

## 2) 千葉県流山市流山市役所

市内の空き家状況と課題を伺いました。都心から 30 km 圏内にあり、高齢者には住み慣れた地域で住み続けられ、子育て世代には安心して子育てができる住宅の提供（移住支援）を出来るよう、居住者ニーズに対応した情報提供ができる取り組みがされていた。

住み替え住宅バンクへの登録を行い、住宅情報を市のホームページに公開して、住み替え相談会を実施され、住宅の売却や購入、賃貸、リフォームなどの専門の市内業者を繋げるなどワンストップで支援ができる仕組みを構築されていた。

空き家が増える中で、耐震性に問題がある物件や地価が高いため賃貸物件も高額となり、ニーズを満たす物件が少ないなどの課題があるようでした。

府中市においても空き家が増え続けている。住宅の有効活用への取り組みを積極的に取り組むべきと感じました。また、市内への移住・定住促進事業をすすめて、相談者のニーズ確認とマッチングの仕組み作りを行い、取り組まれていくよう要望したい。

## 3) 東京都衆議院会館

要望書の提出を行い、その後講師による勉強会を行いました。

今後の医療提供体制として、国の 3 つの改革と考えを伺いました。（地域医療構想、医療従事者の働き方改革、医師偏在対策について）

地域医療構想を推進されている中、9 月 26 日に統合再編の対象となる病院の実名公表で、市内 2 病院が対象となり地域住民や医療関係者の不安が広がっていることを伝え、説明を受けました。地域の実情に応じた検討をされるよう要望いたしました。

府中市としても地域医療の連携体制を早急に構築し、病院再編を含めた検討を行うべきと感じました。

## 4) 東京都荒川区荒川区役所

「区民を幸せに」の考えのもと、基本計画に定める分野ごとに幸福度指標を設定され、成果を見える化し毎年アンケート調査を実施していた。3 世代家族世帯が最も幸福実感度が高くなっていった。また、「防災を学ぶ・考える」イベントが行われていて、災害時の絆・助け合いといった意識を楽しみながら学ぶことのできることで、府中市でも行えると感じました。

新公会計制度での公共施設更新計画が策定されていてわかりやすく、非常に良いシステムであると感じました。府中市にも参考になるため提案したいと感じました。

## 5) 島根県江津市風の国施設内

風の国施設見学と施設売却までの経緯と現状運営について説明を受け、研修をおこないました。

風の国施設は市で指定管理（年 2000 万円）で運営していたが赤字が続き（1 億円以上に膨れ上がり）行き詰まっていた。事業費 30 億円懸けて行ってきたが、今後を考え、建屋を 4850 万円で売却し土地は賃貸契約にされた。民間に譲渡してからは PR 効果もあり宿泊客など利用者が増えてきている。

市内の施設において考えるに、似たような状況の施設もあるので、ひとつのヒントとなりました。

#### 6) 邑智郡邑南町邑南町役場

定住対策・日本一の子育て村構想についてと公共施設マネジメントについて調査研究を行いました。

日本一の子育て村として安心安全に暮らせるよう施策が行われていた。中学卒業まで医療費の無料や常勤医師 10 名の確保などに取り組み住み続けたいと安心感のあるまちづくりをされていた。また、行政として、移住者への住宅支援や結婚支援などの取り組みを行い、移住を考える方に対しても厳しい自然環境などの不便さの真実を伝え、理解されてから移住者を迎えられていて失敗例がない。府中市も積極的に行うべきと感じました。

公共施設の管理には莫大な費用が必要となる。このことを市民に理解をさせていただき取り組みがなされていた。過剰な住民サービスは財源破綻につながる。そのため市民総がかりで公共施設の管理を行っていくことへの理解を伝えられていた。

府中市においても計画的に公共施設マネジメントを積極的に行わなければならないと感じました。

#### 7) 日本教育新聞購入

新たな時代に対応する学校運営や教育実践などが参考になり、質疑に役立ちました。

#### 8) ゼンリン地図データ購入

2019 年度版の府中市地図データを購入し、最新の時空空間情報システムを整備しました。市内調査に活用します。

#### (4) その他

一年間を通して、有効に政務活動費を活用でき、最新情報の取得と他市の取り組みや先進事例、失敗事例なども伺えました。しかし、コロナウイルスの影響などにより計画していました調査研究が行えなかったことで返還金がありました。今後も府中市に対して、必要な提言がおこなえるよう取り組み

を続けてまいります。

令和3年度は

- ・ 市政報告の発行
- ・ 市政報告会の開催
- ・ 防災・減災に対する調査・研究
- ・ 府中市の観光事業・魅力発信力の向上の研究
- ・ 府中市地域包括ケアと病院運営のあり方などの研究・調査
- ・ 若者や女性の活躍する地域づくりの調査・研究
- ・ 府中市の課題解決に向けたさまざまな先進的取り組みの調査・研究
- ・ 議員提案条例策定の研究

などを計画しており政務活動費を活用したいと考えています。

